

第3号



MINATO TIMES

編集：横浜市立みなと総合高等学校
045(662)3710
総学科推進 ミナトタイムス担当
発行責任者 YH
編集 MN

エトセトラ

国際交流と英語の思い出

校長 宮崎 健

英語で外国の人と初めて話したのは高校1年生のときでした。当時は、まだAETの先生なんてどの学校にもいませんでした。普段、英語を話す機会などありませんでした。そんなある日、我が家にアメリカから高校生がホームステイにやって来たのです。

窮屈な我が家で申し訳なく思いましたが、私は必死になって英語を話そうとしました。でも、「もうお昼は食べましたか」という簡単な質問も、「この場合は過去時制かそれとも現在完了か」と迷ってしまい、なかなか口から英語が出てこなかったことを今でも覚えています。また、全く英語が話せない母が、朝、部屋から起きてきた彼に「よく眠れましたか」と質問し、私が、「Could you sleep well?」と訳して、きょとんとされたのも忘れられません。

それ以来、必死に英語を勉強し、実に多くの国の人々と英語で話す機会がありました。生まれも育ちも違う、数千キロも離れた国の人と、ある日何かの機会に出会って、通訳を介さずに直接お互いに英語で話すのは、今も私にとっての最大の楽しみです。



本校を訪問した米国外交官の方々を紹介する校長先生 (右から2番目)

Afghanistan



2013年6月の高校生24人が本校のバディと一緒に午前中全ての授業に参加。ランチタイムも日本のお弁当を興味深く見ながら、天ぷらやいなり、冷やし中華など、おはしを使って食べながら、会話が弾んでいました。

Ireland



留学生 クイーバ



United States 留学生

クリストファー・プラティック



全米ジャパンプール優勝者ジュリア、ジェシカ、エリンの三人は本校生徒と横浜散策をしたり、書道部、茶道部とも交流を深めました。



China



留学生 王さん

2013年3月台湾の高校生15人が来校。本校の中国語の授業に参加しました。中国語と英語で何とか笑顔で会話成立。楽しかった！



留学生 マリア

Thailand



留学生 ナット

Germany



留学生 ティム



2013年10月パースから7人の高校生が来校し、本校の生活を一日体験しました。バディが一日通訳さんになり、身振り手振りで説明。授業はなんとか乗り切り、ランチタイムには学食のチャイハンが大人気でした。放課後にはみんな折り紙を折り、女子フットサル部によるソーラン節を見学したり、チアダンス部の踊りを見たり、日本の高校生と同じ生活を一日体験しました。



留学生 ドーラ



Bridge Across the Pacific



二、三泊目はホストファミリーと過ごし、四、五日目はブリタニアの授業に参加しました。化学や体育、英語、数学など、日本と同じ教科の他に、カフエテリア実習や演劇など珍しい授業もあり、よい経験となったようです。

五日目にはお別れ会を開いて頂き、楽しいブリタニアでの経験を終えました。翌日はホストファミリーと涙のお別れをした後、新渡戸稲造について学びました。『世界の架け橋に』という彼の言葉を胸に、生徒たちはバンクーバー国際空港を後にしました。(大原)



二、三泊目はホストファミリーと過ごし、四、五日目はブリタニアの授業に参加しました。化学や体育、英語、数学など、日本と同じ教科の他に、カフエテリア実習や演劇など珍しい授業もあり、よい経験となったようです。

Aloha!



Time flies!
I had a wonderful time meeting the students of Minato Sohgho!
Thank you so much for your kindness and friendship this year. I will never forget you and will miss you all deeply!
I wish you all the best now and in the future!
Mahalo Nui Loa!
Carl

連絡板

国際交流バディ募集中!!!

本校が独自に実施している国際ボランティア制度が「バディ」制度です。国際交流に興味のある生徒はバディとして、留学生の日常のお世話や、また国際的な行事など、様々な活動において活躍しています。バディになるには月一回、お昼休みの定例会に参加し、登録するだけ。二年次から新規に登録もオッケーです！詳しく知りたい方は、英語科の蛭田・森山・岸・大原まで！



- 山手にあるサンモールインターナショナルスクールから、本校留学生3人が校内新聞の取材を受けました。
- 新三年の小林さんが、日本赤十字社の交流生としてシンガポールを訪れました。
- 通称 YSF-J (Yokohama Student Forum in Japan) 高校生国際会議で、本校が最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞受賞！ 独へ



廣岡さんは、三月の卒業式後、横浜市のパートナー都市であるフランクフルトを訪れ、約一週間の研修(ホームステイ)に参加。現地の高校を訪問したり、サッカー観戦に行ったり、ドイツの文化に触れ帰国。四月から通う大学では、この経験を活かして、将来ドイツと日本の架け橋になりたい、と意欲を燃やしています。

次代を担う若者を対象にした横浜市の新たな日独交流プロジェクトが、本校からスタートすることになりました。今後もこのコンテストは続く予定だそうです。



訪独前に横浜市市長を表敬訪問した廣岡さん

Proverb

It's not where you come from,
it's when you are going! by Carl's do(道)

集者なとくかいどくま度▼新
あ話さながん▼し始
・したの▼る出年くま
編い人の会はるり年